

## VI 償却資産申告書・種類別明細書の記入例

## 1 償却資産申告書

西原村内で事業を開始した年月を記入してください。		申告書提出日を記入してください。																																									
受付印 西原村長様		令和8年1月10日	令和8年度																																								
<b>償却資産申告書(償却資産課税台帳)</b>																																											
所有者	1 (ふりがな) 住所又は納税通知書送付先 〒861-2402 あそぐんにしはらむらおおあざこもり3259 阿蘇郡西原村大字小森3259 (電話(096)279-3111)	3 個人番号又は法人番号 1234567890123	8 短縮耐用年数の承認 有・無																																								
	2 (ふりがな) 氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名 株式会社 西原農園 代表取締役 西原 太郎 (屋号 )	4 事業種目(資本等の金額) 甘諸生産・販売 30 百万円	9 増加償却の届出 有・無																																								
		5 事業開始年月 昭和60年 4月	10 非課税該当資産 有・無																																								
		6 この申告に応答する者の係及び氏名 経理係 河原 次郎 (電話 279-3111)	11 課税標準の特例 有・無																																								
		7 税理士等の氏名 小森 三郎 (電話 279-XXXX)	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無																																								
		13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法	14 青色申告 有・無																																								
<b>資産の種類</b> <table border="1"> <tr> <td>取 得 価 額</td> <td>前年前に取得したもの(イ)</td> <td>前年中に減少したもの(ロ)</td> <td>前年中に取得したもの(ハ)</td> <td>計((イ)-(ロ)+(ハ)) (二)</td> </tr> <tr> <td>1 構築物</td> <td>5,780,000</td> <td></td> <td></td> <td>5,780,000</td> </tr> <tr> <td>2 機械及び装置</td> <td>6,100,000</td> <td>3,800,000</td> <td>7,470,000</td> <td>9,770,000</td> </tr> <tr> <td>3 船舶</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 航空機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 車両及び運搬具</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 工具、器具及び備品</td> <td>400,000</td> <td></td> <td>1,300,000</td> <td>1,700,000</td> </tr> <tr> <td>7 合計</td> <td>12,280,000</td> <td>3,800,000</td> <td>8,770,000</td> <td>17,250,000</td> </tr> </table>				取 得 価 額	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (二)	1 構築物	5,780,000			5,780,000	2 機械及び装置	6,100,000	3,800,000	7,470,000	9,770,000	3 船舶					4 航空機					5 車両及び運搬具					6 工具、器具及び備品	400,000		1,300,000	1,700,000	7 合計	12,280,000	3,800,000	8,770,000	17,250,000
取 得 価 額	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (二)																																							
1 構築物	5,780,000			5,780,000																																							
2 機械及び装置	6,100,000	3,800,000	7,470,000	9,770,000																																							
3 船舶																																											
4 航空機																																											
5 車両及び運搬具																																											
6 工具、器具及び備品	400,000		1,300,000	1,700,000																																							
7 合計	12,280,000	3,800,000	8,770,000	17,250,000																																							
<b>資産の種類</b> <table border="1"> <tr> <td>※ 評価額(ホ)</td> <td>※ 決定価格(ヘ)</td> <td>※ 課税標準額(ト)</td> </tr> <tr> <td>1 構築物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 機械及び装置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 船舶</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 航空機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 車両及び運搬具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 工具、器具及び備品</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				※ 評価額(ホ)	※ 決定価格(ヘ)	※ 課税標準額(ト)	1 構築物			2 機械及び装置			3 船舶			4 航空機			5 車両及び運搬具			6 工具、器具及び備品			7 合計																		
※ 評価額(ホ)	※ 決定価格(ヘ)	※ 課税標準額(ト)																																									
1 構築物																																											
2 機械及び装置																																											
3 船舶																																											
4 航空機																																											
5 車両及び運搬具																																											
6 工具、器具及び備品																																											
7 合計																																											
<b>記載の必要はありません。ただし電算処理により全資産申告を行う場合は記入してください。</b>																																											
<b>15市(区)町村内における事業所等資産の所在地</b>																																											
<b>16 借用資産</b>																																											
<b>17 事業所用家屋の所有区分</b>																																											
<b>18 備考(添付書類等)</b>																																											
<b>※前年前とは 令和6年1月1日以前 前年中とは、 令和6年1月2日から 令和7年1月1日まで</b>																																											

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

### 2 種類別明細書

売却や減失など減少した資産は、見え消し線で消してください。

税務署へ提出される「減価償却資産内訳・明細書」に記載された資産の名称等、数量、取得年月、取得価額(※1)及び耐用年数の欄と相違がないかをご確認ください。

なお、固定資産税の償却資産は、残存価額は5%です。償却年数が経過しても所有している場合は、消さないでください。

※ 所有者コード			※	令和 8 年度			所有者名			1枚のうち			
				種類別明細書(増加資産・全資産用)			株式会社 西原農園			1枚目			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※課税標準の特例率	※課税標準額	増加事由	摘要
1	1		貯蔵庫	1	S60.5	2,000,000	20					1・2 3・4	
2	2		田植機	1	H15.6	3,500,000	7					1・2 3・4	小型特殊(軽自登録)
	2		甘藷洗浄機	1	H16.3	800,000	7					1・2 3・4	
	2		動力噴霧器	1	H19.10	300,000	7					1・2 3・4	R5.10
	2		乾燥機	1	H20.10	1,500,000	7					1・2 3・4	
	1		ビニールハウス	1	H23.5	3,780,000	14					1・2 3・4	
	6		パソコン	1	H27.7	400,000	4					1・2 3・4	
	8	6	エアコン	1	R6.7	300,000	6					1・2 3・4	申告漏れ
	9	2	太陽光発電設備	1	R7.10	7,000,000	17					1・2 3・4	12kW
	10	6	コピー機	1	R7.7	1,000,000	5					1・2 3・4	
	11	2	動力噴霧器	1	R7.10	470,000	5					1・2 3・4	
	12												
	13												
それぞれの償却資産の取得価額を記入してください。													
※1 取得価額とは、償却資産を取得するために通常支出すべき金額 (当該償却資産の取引運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費、その他、該当償却資産を事業の用に供するために直接要した費用を含む)をいう。 なお、圧縮記帳(国庫補助金等で取得した資産で取得価額の圧縮をした金額)、 下取り金額を差引いた額は認められません。													
※個人事業者の場合、事業用資産は、事業割合に関係なく全額を記入してください。													
18													
				小計		17,250,000							
						+2,280,000							
注意 「増加事由」の欄は 1新規取得 2中古品取得 3移動による受け入れ 4その他いずれかに○印をつけてください。													
ページごとに取得価額の合計額を記入してください。													